

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

	記入日 2019年 1月 9日
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	バンドン工科大学 大学 (国名: インドネシア)
所属学部・学科等名	School of Architecture, Planning and Policy Development
在籍身分	交換留学生
留学期間	2018年8月29日～2019年1月6日

### 1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来は交通計画を通じた開発プロジェクトに携わりたいと考えていたため、市場の大きな東南アジアの大学で交通計画について学び、研究を行いたいと思ったため。</li> <li>・バンドン工科大学は東南アジアの中でもトップクラスの工科大学であり、優秀な学生が多く集まるため。</li> </ul>
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	留学をすることは決めていたが、どの大学に行くのか、そしてどのプログラムを利用するか等を奨学金等の関連も考慮しつつ応募時期の約1ヶ月前に留学準備を始めました。指導教員との面談を通じて、留学前後、留学中の予定や目的等を明確にした上で応募しました。同時に、経団連グローバル人材育成スカラシップという奨学金への申請・審査(書類面接)を行ないました。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	自分は一番指導教員との面談が事前準備として重要であると考えています。結局留学で何を実行したいのか、そして帰国後の生活にどう繋げていくのかを共有しておく、留学までの流れがスムーズになります。

### 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: B211A VISIT VISA
	ビザ申請先: インドネシア共和国大使館(東京)
	提出書類: パスポート原本, 申請書, パーソナルヒストリー, 証明写真, スポンサーレター, 残高証明書, 大学からの英文推薦書, E-Ticketの控え
	手続きに要した日数: 約1週間(代行業者にお問い合わせ)
その他必要な事前手続き	授業等の履修(半年以上前に決めました)
出国年月日	2018年8月28日
経路(往路)	関西空港→クアラルンプール国際空港→バンドン国際空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有(大学関係者・ <u>その他</u> 友人) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input type="checkbox"/> 有(期間: 内容: ) <input checked="" type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2019年1月8日
経路(復路)	バンドン国際空港→クアラルンプール国際空港→桃園空港→福岡空港



(2) 医療について	
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
保険の補償内容	補償額 死亡 10,000,000 円、 入院 1 日                      円 その他 (                      )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 (種類:                      回数:                      医療機関名:                      ) <input checked="" type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	利用していないため不明
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	日本人だとお腹を壊す人が多いらしいので、水はきちんとミネラルウォーターを飲む等は気をつけたほうが良いです。あと、車やバイクが多く、横断歩道や信号も少ないので、道を渡る時のコツを掴む必要があります。(タイミングを見計らって、運転手が見えるように手を挙げて渡ります)
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
道路を渡る時、特に夜は危ない、慣れないうちはインドネシア人の友人と一緒に渡っていました。コツを掴んだら、安全にしっかり注意しながら渡るようにしていました。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
自分の場合、お腹を壊すことはほとんどありませんでしたが、屋台での料理はお腹を壊しやすいらしいです。(他大学から来ていた日本人の友人はレストランでも壊していました…)ただ、食べていくうちに慣れていくので、心配しすぎる必要もありません。インドネシア人とご飯を食べる場合、屋台で食べることがほとんどなので、無理をしない程度に楽しんでください。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
イスラム国家であるため、過度な露出は避けた方が良いでしょう。男性の場合、長ズボンの人が多く、上は半袖又は長袖シャツの人が多いです。モスクに行くときは長ズボンを履いておく必要があります。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
大学内の Wi-fi、宿舎での Wi-fi が使えたので、特に問題はありませんでした。それ以外の場所では、現地 SIM カードのインターネットやカフェの Wi-fi を利用しました。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
所属研究科にはダブルディグリー制度があり、その学生専用の教室もあったので、そこで勉強や研究を行いながら現地学生と仲良くなりました。また、交換留学生向けの交流会・イベントも用意されていました(タイミングが悪く参加できませんでした…)	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
イスラム国家なので、お祈りや断食等のイスラム教のルールを少しでも知っておくといいいでしょう。ただ、知らないことは現地の学生に聞くと教えてくれるので、常識の範囲でどんどん聞きましょう。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	

基本的にはPCと必要物品だけでなんとかなると思います。その他、いつも自分が使っている薬があればベストです。意外と現地で色々調達できました。

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

インドネシア語が使えたら色々便利です。(逆に使えないと困ることも多々あります) 留学前にもし余裕があれば、コミュニケーションのためのインドネシア語を習得しておくとうまく良いです。

## 6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2020年 3月 (当初の卒業予定年月 2020年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	これからインターンシップや国際学会参加、就職活動等を行う予定です。単位はほぼ取り終えているので問題はありません。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	所属先にもよりますが、修士の場合は学部よりも修了のための単位取得がそれほど多くないので、留学が卒業時期に影響することは少ないのではと思います。後は研究をどう進めていくかを考慮する必要があるかと思います。

## 7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
旅の指さし会話帳	情報センター出版局	現地学生と一緒に読むと面白いです

## 8. 後輩へのメッセージ

広島大学には様々な留学プログラムが用意されていて、自分も多くの機会を利用して海外で様々な経験をさせていただきました。その中で、長期留学を2回(AMSでタイ、HUSAでインドネシア)経験させていただきました。長期留学のメリットとしては、その国の生活にどっぷりと浸かって、その国の日常を過ごしながら勉強できるということが挙げられます。言葉、文化、食事と様々な違いを受け入れて楽しむことができれば、きっと良い留学生活になると思います。ぜひ違いを楽しみつつ、自分から行動して様々な経験を積んでください。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

・以下の点を踏まえ、記述して下さい。

- ①留学を終えての所感
- ②留学期間中、最も印象に残った体験・出来事
- ③留学の成果、留学前と比較して成長した点
- ④今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか（将来のキャリアパスも含めて）

今回は大学生生活2回目の留学、かつ修士課程での留学であったため、数多くの選択肢の中から自分が必要としていることに絞った有意義な留学期間になったと感じています。例えば今回の留学は、将来の自分の目標に向けて足りない部分を補強するという目的を事前に持っていたため、チームで物事を成し遂げる能力、非ネイティブとのコミュニケーション能力、論理的思考力等の能力を習得するためにすべきことを優先的に実行しました。具体的には、授業の中でインドネシア人学生とのグループワークに積極的に参加したり、日々の生活の中で常にインドネシア人と行動し、英語が第一言語でない人たちとコミュニケーションを繰り返したり、自分が提案したプロポーサルをベースに現地の学生や教授と調査・分析、そして論文作成を行う等を実行しました。長期留学をしていると、短期留学と違い、本来の目的を忘れて漠然と日々の生活を過ごすことになることが多いと思うので、常に留学の目的を意識しながら生活するようにしていました。特に、自分の研究計画書をベースに現地の先生や学生と議論しながら研究の方向性を決めていくプロセスは、とても苦しい時期ではあったものの、最終的には論文としての成果物を出せたことは自分にとって意義のあることだと思っています。そのプロセスでは論理的思考力や英語力は必要不可欠であり、その上で学生や先生との信頼関係を築いていくことの重要性も実感しました。これらの経験を通して、今回の留学の目標を少しでも達成できたのかなと思っています。

これらの経験を通して得たことは今後の生活に活かせるものばかりだと思います。コミュニケーション能力やチームで物事を成し遂げる能力、論理的思考力などは大学生活だけでなく、今後国際社会で生きていく上で非常に重要であることは自明です。留学中に鍛えられたものの、自分が持つこれらの能力はまだ未熟なので、今後の大学生活の中でも留学中に意識したことを継続していきたいと思っています。自分は現在国際協力研究科に所属していることもあり、英語でのコミュニケーション能力を鍛える上では最高の環境だと思います。また、今後も修士論文の他に国際学会へのペーパー投稿も考えているので、論理的思考力を今後も鍛え続けたいと思います。そして卒業後はこれまでに得た知識・能力を生かして交通計画を通した国際協力事業に携わりたいと考えています。今回お世話になったインドネシアの持続可能な発展にも貢献できればと考えています。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。